



本海獅子舞番楽猿倉講中
【由利本荘市】



本海獅子舞番楽八木山講中
【由利本荘市】



鳥海山日立舞（横岡番楽）
【にかほ市】

合同開催 秋田県子ども民俗芸能交流大会 入場無料
第16回由利本荘市民俗芸能大会



金浦神楽
【にかほ市】



坂之下番楽
【由利本荘市】



屋敷番楽
【由利本荘市】

2024 (R6) 11.16 土
西目公民館シーガル

開場 12:30

開演 13:30

終演 16:10（予定）



司会 高野 葉
【NHK秋田放送局】

お問い合わせ
秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室
TEL 018-860-5192

主催 秋田県教育委員会 由利本荘市教育委員会

後援 由利本荘市文化財保護団体連合会 由利本荘市民俗芸能団体連絡協議会 由利本荘市芸術文化協会連合会 秋田県民俗芸能協会
秋田魁新報社 NHK秋田放送局 ABS秋田放送 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送 ゆりほんテレビ

出演団体一覧

本海獅子舞番楽猿倉講中（ほんかいししまいばんがくさくらこうちゅう）

本海獅子舞番楽の起源は、今から約 400 年前の江戸時代の寛永年間（1624-1644）とされ、本海行人（本海坊）^{注1}が、地元の誇る霊峰鳥海山麓の集落一帯に直接伝授しました。猿倉講中は、本海獅子舞番楽を伝承する 13 団体のうちの 1 つです。本海獅子舞番楽に不可欠とも言われる獅子舞のほかにも伝承する演目が多く、古い番楽幕注2に「寛政八歳辰六月吉日」とい文字があることから、猿倉講中の長い歴史は、寛政 8（1796）年以前に遡ることができます。以来、芸能の影響が色濃い旧鳥海町猿倉地区に脈々と受け継がれており（※『猿倉人形芝居』の「猿倉」は、この地名に由来します）、年少者の参加や各種大会への出演も多く、精力的に活動を継続しています。

本海獅子舞番楽八木山講中（ほんかいししまいばんがくやきやまこうちゅう）

本海獅子舞番楽八木山講中は、上記の猿倉講中と同様、今から約 400 年前に本海行人が鳥海山麓の集落一帯に直接伝授した獅子舞番楽を伝承する団体の 1 つです。言立本注3に「文政八年酉正月吉日」という文字があることから、八木山講中の長い歴史は、文政 8（1825）年以前に遡ることができます。本海獅子舞番楽の象徴とも言える獅子舞はもとより、八木山講中にしか残っていない演目もあり、猿倉講中とともに、本海獅子舞番楽の歴史と価値を現在に受け継ぎ、次世代につなぐための活動を意欲的に続けています。

鳥海山日立舞（横岡番楽）（ちょうかいさんひたちまい（よこおかばんがく））

鳥海山日立舞は、横岡番楽や横岡の獅子舞などとも呼ばれ、一説には芸能を好んだ生駒氏が、寛永 17（1640）年に讃岐国（現香川県）高松から出羽矢島にお国替えになった際に伝えられたとも言われています。また、鳥海地域の下百宅から獅子舞が伝わったとの逸話もあり、本海獅子舞番楽とのつながりも非常に深いものがあります。長らく地元に根付いてきた芸能を伝承していこうとする気運が高く、昨今は移住者を中心に地域外の人を積極的に受け入れるなど、古い慣習にこだわらず、多方面から保存・継承に努めています。

金浦神楽（このうらかぐら）

金浦神楽は、幕末に山形県庄内地方へ仕事で赴いた現にかほ市黒川地区の人物が、庄内で行われていた番楽系統の神楽太鼓を伝えたのが始まりとされ、現在は金浦神楽保存会が継承しています。金浦地域の民俗芸能を保存・継承すべく、小中学生をはじめ若い世代の会員も多数在籍します。太鼓を背にして打つという全国的に見ても珍しい独特な奏法が特徴であり、演目全体を通して速いリズムと打ち手が交代しながら切れ間なく演奏する早打ちなど、見所・聴き所が多い民俗芸能です。

坂之下番楽（さかのしたばんがく）

坂之下番楽は、本海行人が、その晩年に旧矢島町坂之下集落に伝授したとされる、いわゆる本海流番楽の 1 つです。本海行人が伝えたとき、かなりの高齢で腰が曲がっていたことから、中腰での動きが多いとする説もあります。本海行人は坂之下に近い荒沢で没したと言われており、坂之下はゆかりが深い地と言えるでしょう。後世に必ず残していくという確固たる思いのある勇壮な獅子舞のほか、多くの演目を伝承しており、女性を会員として迎え入れるなど、時代情勢に合わせた保存・継承のための活動を続けています。

屋敷番楽（やしきばんがく）

屋敷番楽の起源は今から約 240 年前とされます。天明 3（1783）年の飢饉の際、本海獅子舞番楽が伝わっていた荒沢に旧由利町屋敷集落の何人かが赴き、悪疫退散・五穀豊穡のため、番楽を習ったとの伝承があります。本海獅子舞番楽への厚い信仰心と地域の安寧を願う気持ちがひしひしと伝わってくる逸話です。早くから継承のために映像記録を残したり、集落の一年を追ったドキュメンタリー映画『長靴をはいた獅子たち』（平成 23（2011）年）の製作にも全面的に協力するなど、その活動は幅広いものがあります。屋敷番楽は他集落に広く番楽を伝えたことが知られており、その心意気は今も変わらずに残っています。

注 1) 本海行人（本海坊）（ほんかいぎょうにん（ほんかいぼう））：17 世紀、京都醍醐寺三宝院に属した修験者で、芸能に優れていた。鳥海山の周辺集落に、本海獅子舞番楽と呼ばれる獅子舞と番楽（山伏系の神楽）を伝えた。

注 2) 番楽幕（ばんがくまく）：番楽を披露する舞台後方に張られる布製等の幕。幕には切れ目が入っている。演者はほぼこの幕から舞台上に登場する。各団体ごとに意匠が異なり、それぞれ独自のものである。

注 3) 言立本（いいたてほん・いいだてほん）：番楽等の演目内容や語られる台詞・唄等を記録したもの。